

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2015年度（後期）指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」

完了報告書

おらがまち（豊能町）の地域包括支援システムのあり方について

在宅医療と多職種連携

医療と介護と福祉と生活支援の連携

申請者：平川久美

所属機関：株式会社さわやか豊能訪問看護ステーション

提出年月日 平成29年2月1日

1. 開催概要

第1回 研修会開催

平成28年6月26日(日) 14:00~16:00 希望ヶ丘自治会館 会議室にて開催

参加者 54名 地域住民・介護ヘルパー・グループホーム世話人・製薬会社・薬剤師

医師・ケアマネージャー・訪問看護師・行政機関・福祉用具販売員等

来賓 豊能町町長 田中龍一様

豊能町地域包括支援センター 小谷美保様

豊能町で唯一訪問診療をされている、まわたり内科院長 馬渡秀徳医師

豊能町東地区唯一の介護支援事業所のせの里 介護支援専門員 永山敬様

豊能町唯一の相談支援事業所まーぶる 相談支援専門員 谷田忍様

豊能町唯一の訪問看護事業所さわやか豊能訪問看護事業所 看護師 田中早苗様

4名の異なる職種(医師・介護支援専門員・相談支援専門員・看護師)

医療と介護と福祉と生活支援の側面からそれぞれ役割と豊能町における使命について講義をいただいた。また、豊能町は少子高齢地域であり、今後ますます高齢化が進む中、医療資源や各サービス提供事業所が少ない地域である。つまり、少ない社会資源を活用して住民の皆様が安心して住み慣れた地域で生活し続けるためには、多職種連携は必要不可欠である。

そのために、医師の立場から、実際の訪問診療のご様子やこれから療養生活の場は在宅にあることをご説明していただき、住民の皆様へ訪問診療や在宅医療について言及いただいた。また、介護支援専門員や相談支援専門員からは、利用制度の説明と利用方法を具体的に説明いただき住民の方が何でも気軽に相談できる窓口の周知に努めていただいた。最後に、多職種連携のツールとして一つの「見える事例検討」を看護師よりご紹介いただき講演は終了となる。

最後に、質疑応答の際は、活発に住民の皆様や専門職の皆様会場から多くの質問と回答がでた。自分の暮らす地域に、顔の見える専門職がおり、困ったときに相談できる各窓口として周知できたと考える。そして、多職種間では、同じ目的「おらがまち豊能町で介護や医療、福祉が必要になったときに安心・安全に暮らせる」を共有し、相互に情報交換し、いつでも協力できる体制(環境や風土)があることを確認し合い、多職種連携と考えるようになった。



第2回研修会開催

平成28年10月23日(日) 14:00~16:00 こひつじクリニック1階

参加者 20名 (地域住民・ケアマネージャー・訪問看護師・医師・理学療法士
作業療法士・保健師・ヘルパー等)

猪名川町から豊能町まで訪問診療専門小松医師より、訪問診療で気を付けていることや多職種連携で工夫していることなどご講演いただく。

相談支援専門員より具体的な活動内容や役割、職種としての課題など詳しく丁寧にお話いただいた。保健師より地域における感染対策や感染予防を通しての多職種連携の具体例について説明いただいた。

今回、参加人数も少なく質疑応答の時間をゆっくり持つことができ、軽食と飲み物でおもてなしし温かい雰囲気で開催を終えることができた。

最後に、「患者様が自分の人生の主人公になることのできる医療とは」小松医師の論文を読みながら考えることができた。

2. 研修会終了後の効果

- ・地域住民の皆様に豊能町東地区で医療や介護・福祉のサービスが必要となった時に使えるサービスや利用方法、また担当者の顔が見えて相談窓口がわかり、より安心につながったと考える。
- ・社会資源の乏しい地域だからこそ担当者の顔がわかり、何でも気軽にお互いが相談しあえる機会の提供となった。
- ・同じ目的(住み慣れた地域で安全安心して暮らしたい)を共有し、相互に情報交換でき、助け合える仲間づくりができ、今後にもつながっていけると考える。

3. 今後の継続性について

- ・在宅医療と多職種連携を通して、普遍的な課題（感染対策、連絡方法、個人情報の取扱い等）に相互に研鑽し合い、目的を継続していけるように取り組む

「公益社団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による」

地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会

おらがまち（豊能町）の地域包括支援システムのあり方について、在宅医療と多職種連携
～「医療」と「介護」と「福祉」と「生活支援」の連携～

《開催日時》平成28年6月26日（日）

14:00～16:00（13:30開場）

《会場》希望ヶ丘自治会館 会議室

参加費は**無料**です

《当日のスケジュール》

時刻	内容	講師
13:30	開場	
14:00	開場あいさつ、趣旨説明、来賓あいさつ	
14:10	在宅医療が果たすべき役割 - 訪問診療の実際 -	まわたり内科 医師 馬渡 秀徳
14:40	在宅療養を支える医療・介護資源	在宅介護支援事業所 のせの里 介護支援専門員 永山 敬
14:55	在宅療養を支える福祉資源 事例から見てくるもの	相談支援事業所「まーぶる」 相談支援専門員 谷田 忍
15:10	見える事例検討	さわやか豊能訪問看護ステーション 看護師 田中 早苗
15:45	質疑応答	
15:55	閉会あいさつ	
	集合写真 撮影	
16:30	懇親会 開始	
17:30	懇親会 終了	

主催：さわやか豊能訪問看護ステーション 代表 平川久美

・この研修会は、公益社団法人在宅医療助成勇美財団の助成を受けております

平成 28 年 9 月 7 日

関係各位 担当者様

さわやか豊能訪問看護ステーション
大阪府豊能郡豊能町希望ヶ丘 6 丁目 1-10
管理者 平川久美

平成 28 年度 第 2 回多職種研修会の開催について（通知）

時下皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度第 2 回「おらがまち（豊能町）の地域包括支援システムのあり方について、在宅医療と多職種連携」本テーマとして、研修会を下記のとおり開催いたします。

今回は、こひつじクリニック院長の小松邦志先生にお越しいただき、先生からのご講演と、その後は質疑応答および意見交換会としております。

豊能町・能勢町・猪名川町圏域の医療・介護・福祉等関係者の皆様には奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 平成 28 年 10 月 23 日（日） 14 時～16 時（予定）

場所 希望ヶ丘自治会館
大阪府豊能郡豊能町希望ヶ丘 2 丁目 3 8-2

内容 テーマ「多職種連携について考える」
講師 こひつじクリニック 医師 小松邦志先生
講師 さわやか豊能訪問看護ステーション 看護師・保健師
・質疑応答および参加者による意見交換を実施予定

申し込み 10 月 15 日（土）までにお電話もしくはメールにて出欠の連絡をお願いします。

その他 この研修会は公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」
の助成を受けています。

以上

お問い合わせ

さわやか豊能訪問看護ステーション

担当：北野京子

電話：072-739-0809

メール：sawayaka.nurse@hera.eonet.ne.jp